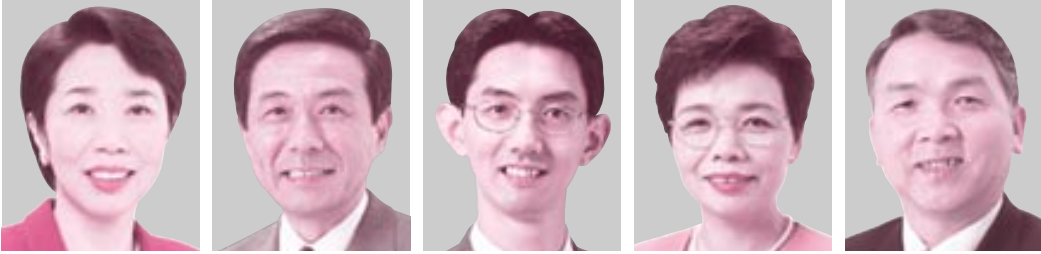


日本共産党・川崎市会議員団



西尾りえ子 (幸区)



ちくま幸一 (幸区)



佐野よしあき (川崎区)



岩田サヨ子 (川崎区)



宮原 春夫 (川崎区)



石田 和子 (高津区)



西村 英二 (高津区)



徳竹きよし (中原区)



市古てるみ (中原区)



市村ごろう (多摩区)



石川けんじ (宮前区)



宮崎みつお (宮前区)



稲本たかし (麻生区)



斉藤たかし (多摩区)

介護保険

保険料・サービス利用料の減免が実現

全会一致の「市議会決議」が大きな力になりました

「生活保護基準」以下の低所得者を対象に。申請は区の相談窓口へ

この四月から、いよいよ介護保険制度がスタート。川崎市では、他の政令市に先駆けて保険料・サービス利用料の独自の減免制度が創設されました。減免対象は、「生活保護基準」以下の低所得者。「保険料が払えない」「お金がないのでサービスが受けられない」という不安の声が広がるなか、市民団体がねばりつよく運動してきたものです。

介護手当、紙オムツなど、保険外の市独自の施策も数多く継続に

また、介護保険の実施で「削られないか」と心配されていた保険対象外の、月一万円の介護援助手当や高齢者の住宅改造成、紙オムツ支給、民間特養

まだ問題は山積み サービス体制のたちおくれ、このままでは大変！ 特養老人ホームの増設いそいで

入所が必要な高齢者も入れない さらためて問われる市長の責任

たちおくれしている介護サービス体制など、まだ多くの問題が山積みしています。

市内の特養老人ホームの待機者は、九〇〇人(昨年10月時点、市調査)。このうち、四月に入所が必要とされた人が六百人もいますが、その多くが入れる見込みのないままこの四月をむかえることに。

市長が「当初計画」の建設を大幅に遅らせなければ、せめてこの六百人はほぼ全員が入れたのです。責任がきびしく問われるのではないのでしょうか。

老人ホームへの運営費補助なども市費で継続「要介護」と認定されなかった人へのデイサービスやホームヘルプサービスなど、市独自の「自立支援」も継続されることになりました。



「お金のない人も安心できるように」との交渉が実って 川崎医療福祉協議会理事長・医師 土屋 恒篤

特養ホームの遅れが、在宅介護施設の遅れに大きく影響 特養老人ホームの整備の遅れが、これに併設されるデイサービスやショートステイなど在宅介護施設の遅れにも大きな影響をあたえています。

Table showing waiting lists for home care services in 2000: デイサービス 65%, ショートステイ 76%

必要なすべての人が安心して介護を受けられるように

必要とするすべての人が安心して介護サービスを受けられるようにするには、国の制度の抜本是正が必要で...

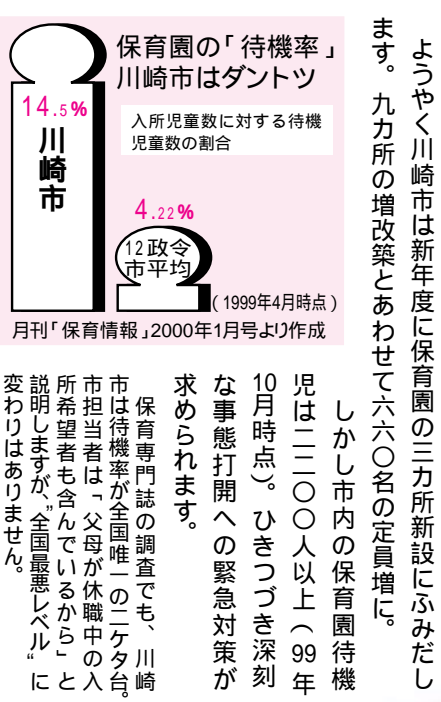
日本共産党は、保険料徴収の凍結を当面一年間に延ばし、その間に最小限必要なサービス体制の整備を集中的にすすめること、住民税非課税の高齢者・低所得者を対象にした抜本的な減免制度をつくること、などを提案。

「これでいいの？ 税金の使い方」 ぜひ、裏面をご覧ください

市民の運動と、日本共産党が第2党に伸びたことが力になって...

この問題でも

保育園やっと3カ所新設にふみだしますが... 待機率、全国最悪の事態打開にはあまりにも不十分



「無料」を継続 中小零細、福祉施設は

これまでの「10kg以下は無料」という控除制度を廃止して中小業者・商店のこみを全面的に有料化していく答申が市長の諮問機関から出されて心配されましたが、三月議会でその手数料見直しでは、中小工業者と福祉施設にはひきつづき控除制度を基本的に存続することになりました。

「不況に追い打ちかけるな」との中小業者の運動が反映 川崎民主商工会 協議会会長 吉田 三夫



衆院小選挙区 川崎市関係



10区(川崎区・幸区・中原区) 笠木たかし



9区(高津区・多摩区・麻生区) 井口 まみ



8区(宮前区・横浜市青葉区) おおば裕子

衆院比例代表・南関東ブロック(神奈川・千葉・山梨)



三浦 伸子



中嶋 誠



笠木たかし



石井 正二



大森たけし



志位 和夫